

報道関係各位

2005年4月15日

エス・エス・ジェイ株式会社

東洋ビジネスエンジニアリング株式会社

- ベストオブブリード事例 -

「MCFrame と SuperStream」でシステムを刷新し

異なるシステム間のスムーズな情報連携と、海外製と比べ大幅な導入費用削減を実現

～ 日本化学工業、国産パッケージを利用して基幹システムの最適化とレガシーシステムの連動を実現～

エス・エス・ジェイ株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:佐藤 祐次、以下 SSJ)と、東洋ビジネスエンジニアリング株式会社(本社:千葉県習志野市、取締役社長 千田 峰雄、以下 B-EN-G)は、日本化学工業株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役兼代表執行役員社長:佐藤 源一、以下 日本化学工業)が、自社のシステム刷新に伴い、B-EN-G の MCFrame と SSJ の SuperStream を選定し、レガシーシステム、Web 系システムとの情報連携による「ベストオブブリード」型システム導入によるスムーズな情報連携に成功し、海外製パッケージによるビックバン導入に比べ、大幅な導入費用削減を実現したことを発表いたします。

日本化学工業は無機化学品、電子材料、有機化学品、農薬、医薬中間体などの製造販売・輸出を手がけ、創業から 100 年以上の歴史を持つ、化学製品のパイオニアです。社内システムも、約 35 年にわたり自社開発と運用を行ってきたため継ぎ接ぎ状態になり、また伝票会計方式を採用していたため、会計処理の時間短縮の限界など、多くの課題を抱えていました。このような状況の中、2004 年、旧システムのリース切れに伴いシステム刷新に着手しました。商品の選定にあたり複数の製品を比較検討した結果、国内企業には日本独自の業務慣習が標準機能として搭載されている国産パッケージが最適と判断し、システム導入費用も海外製品に比べドラスティックに圧縮でき、投資対効果が明確であることから、生産管理システムと原価管理システムには MCFrame、財務会計・人事給与システムには SuperStream-CORE シリーズの採用を決定しました。

「現在でも品質管理システムについては旧システムを、また Web 対応が必要であった受注システムには、独自に開発した eNeo(Electronic Nippon Chemical Entry Order) System を利用しています。ただし今回の導入のように、会計などの法・制度に準拠する業務には、実績が豊富な SuperStream を採用し、生産管理システムのような業界特性や特殊な仕様が存在する業務には、MCFrame のような柔軟なカスタマイズが可能なオープン製品を中心に、手作りしたシステムや旧システムを組み合わせました。これは最良の選択だったと考えています。」と日本化学工業の総務人事部 部長 荒木純一氏は語っています。

今回の刷新で、日本化学工業はパッケージ製品とレガシーシステムを最適な形で融合させ、システム相互の情報共有により社内の業務プロセスを透明化させることに成功。品質管理システム・受注システムと MCFrame の生産管理システム間で独自のインタフェースを開発、また *SuperStream* と MCFrame 間でも、それぞれのデータベース公開によりデータの交換を行い、新システムでは各システム同士のスムーズな連携も実現させています。システムの稼働を果たした現在、日本化学工業では業務プロセスそのものの見直しを行い、月次決算の早期化生産効率の更なる向上を目指し、導入効果を一層高めていく予定です。

日本化学工業株式会社について

事業内容:無機化学品、電子材料、有機化学品、農薬、医薬中間体などの製造販売・輸出

本社:〒136-8515 東京都江東区亀戸9-11-1

創業:1893年(明治26年)

設立:1915年(大正4年)9月16日

資本金:57億57百万円

売上高:444億4300万円(平成16年3月期)

従業員数:722人(平成16年3月) 上場市場:東京証券取引所市場第一部(証券コード:4092)

URL: <http://www.nippon-chem.co.jp/>

エス・エス・ジェイ株式会社について

SSJは統合業務パッケージ「*SuperStream*(財務会計・人事/給与)」の開発・販売を行っています。日本の商慣習を十分にふまえて開発しているため、完成度が高く、基本的にノンカスタマイズ・ローコストで導入が可能です。充実した機能は、海外製ERPパッケージとは一線を画す高い完成度を誇り、平均導入期間は3ヶ月という短期でありながら、国産の業務パッケージ並みのコストを実現しています。1995年の6月の発売以来、国内の中堅企業を中心に支持を受け、累計で3,816社以上(2005年3月現在)の導入実績があり、そのうち430社以上のユーザー企業が店頭市場以上に公開。2004年4月に矢野経済研究所から発表された「2003中堅企業におけるERP及び拡張ソリューションの導入実態と今後の展望」では同研究所が行ったマルチクライアント調査において財務会計分野で*SuperStream*が年商100億~1,000億円の中堅企業でトップシェアの20.2%を獲得しています。

東洋ビジネスエンジニアリング株式会社について

東洋ビジネスエンジニアリング(B-EN-G)は、IT企画、BPR実施のビジネスコンサルティング、IT導入コンサルティングから、システム構築サービス、運用サービスにわたり、ERPを中心に豊富な実績を有するビジネスエンジニアリング企業です。中国をはじめとしたグローバル展開支援でも実績を積み重ねています。

MCFrameは、当社オリジナルERPとして、1996年のリリース以来、日本生まれのきめ細かい機能やカスタマイズ性に富んだ作りなどの特長を活かし、製造業・流通業・サービス業など130社を超えるお客様に幅広くご導入いただいております。また、23社のSIパートナー(2005年3月現在)によるビジネスも拡大を続けております。今後は、中国語版に続き、英語版をリリース(2005年5月末を予定)するなど、グローバル対応も強化していく予定です。

<本件に関するお問い合わせ先>

エス・エス・ジェイ株式会社 マーケティング部 PR 担当 松本 歩

TEL: 03-5702-9136

FAX: 03-5702-9111

E-mail: amatsumoto@ssjkk.co.jp URL: <http://www.ssjkk.co.jp/>

東洋ビジネスエンジニアリング株式会社 業務管理本部 広報担当 猪野 肇(イノ ハジメ)

TEL: 047-454-1263

FAX: 047-454-1145

E-mail: www@to-be.co.jp

URL: <http://www.to-be.co.jp/>

* 本文中の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。